

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～20℃台を示し、平年並み～やや高め水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---シケの日が多く出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- イカ釣-----スルメイカは、壱岐勝本地区では1日当たり4トンの水揚げで、前週の2.9倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では1日当たり24kgの水揚げで、前週の35%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の2倍（前年並み）。
- 定置網-----五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり2.2トンの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり2.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり418kgの水揚げ。
- 一本釣-----北松宇久地区では、イサキが1日当たり58kgの水揚げで、前週の34%（前年を下回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり20kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 延縄-----北松小値賀地区では、キダイなどが1日1統当たり31kgの水揚げで、前週の66%（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/5～4/9）5日間の沖合イカ釣は、船凍船は切揚。
沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖にかけて出漁した。
境港基地の小型イカ釣船 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）